計量管理強調月間標語を発表

最優秀作品は標語短冊に

都計協計量管理研究部会は、11月計量管理強調月間に向けて部会メンバー事業所から標語を募集していた。このほど各賞が確定した。

本年度は各社内選考を経た応募総数18点の標語から、web選考会を経て次の４作品が選ばれた。

■最優秀作品（２点）

▽「正しい計量　確かな管理　厳しい時代も　ゆるがぬ信頼」（三越伊勢丹ホールディングス総務統括部品質管理山﨑慎司）

▽「正しい秤で　確かな安心　みんなで支える　計量管理」（森永乳業東京工場デザートライン鈴木仁）

■佳作作品（２点）

▽「正しいはかりで確かな計量　適正管理で品質向上」（森永乳業東京多摩工場ＤＹ充填伊藤傑）

▽「その軽量本当に軽量　見逃すな　正しい数値は計量あるのみ」（森永乳業東京工場デザートライン藤田友樹）

最優秀作品は標語短冊に加筆して表彰式を行う。

正しい秤で　確かな安心
みんなで支える　計量管理

（一社）東京都計量協会　計量管理研究部会

令和２年度　鈴木　仁

正しい計量　確かな管理
厳しい時代も　ゆるがぬ信頼

（一社）東京都計量協会　計量管理研究部会

令和２年度　山﨑　慎司

最優秀作品の計量管理強調月間標語の２点

最優秀作品２点は、標語短冊として印刷され、都計協の会員事業所に配布されている。

前回の優秀標語表彰式のようす

東京都計量検定所

計量管理強調月間の事業

東京都計量検定所では11月を計量管理強調月間としている。

⑴計量管理強調運動

都内の適正計量管理事業所及び大規模小売店の計量管理担当部署等に対し、ポスター、チラシ等を配布し、適正な計量管理への更なる取り組みを実施するよう依頼する。

後日、取組事業者には実施結果の報告をお願いしている。

⑵正量取引強調運動

都内の各区市町村商店街連合会等に、ポスター、チラシ等を配布し、正量取引強調運動への参加を依頼し、適正な計量販売の推進を図る。

計量の明日を拓く
SANKO
株式会社三光精衡所　〒125-0042東京都葛飾区金町2-1-1　TEL03-3607-2328　FAX03-3607-2348

計量記念日事業のweb開催のお知らせ

（④面からのつづき）

一般社団法人東京科学機器協会、東京都環境計量協議会、東京計量士会、東京都計量証明事業協会、東京都水道局、一般社団法人日本海事検定協会、日本ガスメーター工業会関東支部、日本硝子計量器工業協同組合、一般社団法人日本計量振興協会、一般財団法人日本穀物検定協会関東支部、日本電気計器検定所、株式会社松屋、一般社団法人東京都計量協会、東京都計量検定所（以上18団体）

◇その他

東京都計量検定所の計量展示室では、11月の計量月間に特別展示を実施してきましたが、今年は自粛いたします。通常の展示はおこなっていますので、ご来室下さい。

特別展示はおこないませんが、代わりに今年は、本紙に掲載した「メートル法の起源（アンリ・モロー著、高田誠二訳）」や令和元年の４月から12月に国民生活（web版）に連載した「探検！計量の世界」に加筆増補した計量記念日仕様のＰＤＦ版を計量月間中は東京都計量検定所ホームページからダウンロードできるようにいたします。

◇問い合わせ

計量記念日行事についてのお問い合わせは、管理指導課企画調整担当まで。電話０３－５６１７－６６４３

10月のIDとPW
ID：5139
PW：tfmbt8ad

計量検定所「講座・イベント案内」

計量のひろばNO.63

特集は「放射温度計の概要」

計量記念日にあわせて日本計量振興協会が毎年発行している、計量啓発パンフレットの『計量のひろば』。Ａ４判３つ折り、両面カラー印刷。コンパクトで、配布に適した形をしている。今回で63回目の発行。

今回の特集は「放射温度計の概要」。

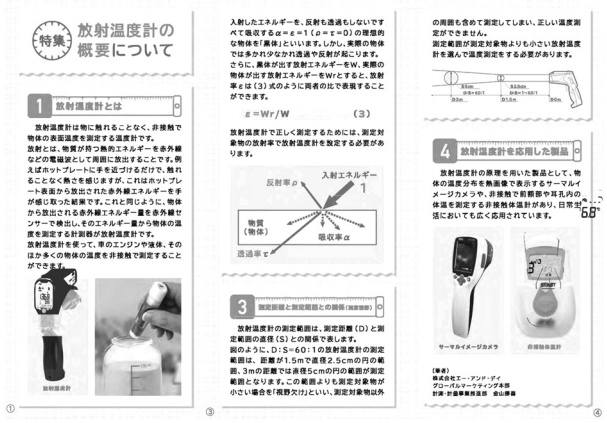
放射温度計の仕組みや、放射温度計を応用した製品などについて図や式で分かりやすく説明している。

■内容

内容は、①放射温度計とは②放射率εとは③測定距離と測定範囲との関係（測定視野）④放射温度計を応用した製品。

放射温度計は、物体から放出される赤外線エネルギー量を赤外線センサーで検出し、そのエネルギー量から物体の温度を測定する計測器であり、近年、さまざまな分野で利用されるようになっている。

計量のひろば No.63 の表面



計量のひろば No.63 のなか面

■時宜を得た特集

製品には、物体の温度分布を熱画像で表示するサーマルイメージカメラや、非接触で前額部や耳孔内の体温を測定する非接触体温計などがある。現在、非接触体温計が、新型コロナウィルス感染防止のために多く利用されており、時宜を得た特集である。

執筆は、金山勝喜氏（エー・アンド・デイグローバルマーケティング本部計測・計量事業推進部）。

■標語など掲載

『計量のひろば』には、昨年度の「計量啓発標語」と「何でもはかってみようコンテスト」の最優秀作品賞、優秀作品賞が紹介されている。

■４万４０００部作成

『計量のひろば』は４万４０００部作成。全国の計量協会や計量行政機関、計量関連機関などへ配布し、全国で活用される。

■『ひろば』をきっかけに語り合う

この『計量のひろば』を媒介物として、さまざまな議論をしたり、よりわかりやすく消費者等へ説明をするための「きっかけ」として活用していくことが期待されている。

（関連記事①面）

日本計量新報社の媒体に広告を出しませんか
新聞「日本計量新報」、WEB「計量計測データバンク」
新製品のお披露目・キャンペーン。周年記念や総会、展示会、セミナー等のお知らせがございましたら、ぜひご利用下さい。
掲載媒体、サイズ、回数により費用が変わります。
お気軽にお問い合せ下さい。　担当は、小野まで（work@keiryou-keisoku.co.jp）